

ハナばあちゃん!

わたしのヤマのカミサマ

平成23年2月12日(土)・13日(日)
全国に先駆けて大館市民文化会館で公開
1月11日11時11分から前売り開始!

大人 1,500円 (前売り 1,200円)
学生 1,200円 (前売り 900円)
中学生以下 1,000円 (前売り 800円)

チケットのお買い求めは、市内プレイガイド、
おおだて映像計画LLP(御成町2丁目)ほか

詳しくは WEB <http://odate-movie.jp>



©おおだて映像計画

大館弁をマスターするのに皆さん一苦労



©おおだて映像計画

記者会見シーンに集まった記者役のエキストラ



©おおだて映像計画

小坂鉄道廃線を快走る「レールバイク」

ストーリー

ハナばあちゃんがり盛りする「喫茶おだて」。ハナばあちゃん亡き後、孫娘・実香はかつてのぎわいを取り戻そうと奮闘するが、なかなかうまくいかない。

心配そうに見守る常連客や仲間たち、東京や大阪からやってきたワケありの男女など、妙な客が集まりドラマが展開していきます。

さまざまな悩みを抱えた人たちが、協力し合いながらもお互いに「自らの自然体を見つけて出し、新たな希望へと踏み出すグロージングアップストーリー」。

みんなが「何も無い」と思っていた大館・北秋田の地で、それが見つけた「何か」とは…。

猛暑の3週間のロケ

そして平成22年7月26日、東京・表参道ロケから大館発の映画「ハナばあちゃん!!」わたしのヤマのカミサマの撮影がスタートしました。

昨年の夏は記録的な猛暑となったほか、天気予報を無視したような長雨がスタッフを悩ませました。

メインロケ地となった大館市内の喫茶店では、撮影中はエアコンを切ってしまうため蒸し風呂状態。雨がやむのを待つ余裕も無く、照明で「晴れた日中」や「晴れた朝」を作り出していました。技術とキャスト・スタッフの忍耐力には、プロのすごさを感じました。

延べ1500人が協力

撮影には、延べ1500人も市民エキストラとボランティアスタッフが協力しました。さらには、ロケ場所や製作資金提供、物品や労務協力など、市内外の多くの企業などの協力もあり、延べ19日間に及んだ撮影は無事終了。

スケジュールが押して長時間待たせてしまうこともあったのですが、ほとんどの参加者から「楽しかった」という感想が聞かれ、まさに市民手作りの地元映画となっています。

連日、早朝から深夜まで休み無しでの撮影でトラブルもありましたが、多くの皆さんの『力』で大館発の映画は完成しました。

主なキャスト



©おおだて映像計画

山野 ハナ役
京田 尚子



©おおだて映像計画

湊 マヤ役
秋田 真琴



©おおだて映像計画

浅田 理美役
岩田 さゆり



©おおだて映像計画

所 一志役
渋谷 譲二



©おおだて映像計画

山野 実香役
入山 法子